

化学物質の適正管理

グリーン規定に従い化学物質を適正に管理していきます。

化学物質の排出・移動量

改正PRTR法に対応して2010年度より新しい該当物質のデータ収集をおこないました。

また、2010年度から排出量の算出方法を、従来よりも現

状を反映しやすい方法に改善しました。

2010年度の目標は、2007年度比で排出量、移動量とも3%削減でしたが、排出量は48%減少、移動量は42%減少と目標を大きく上回りました。排出量の減少は算出方法の改善も要因です。

●今後の対応

・今回改善した算出方法で、継続して排出量を監視していき、環境対応設備の新設などにより環境への排出を減らしていくよう努力を続けます。

■荒川化学グループ PRTR対象物質の排出・移動量(主要12物質)

単位:kg(ただし、ダイオキシン類のみmg-TEQ)

PRTR対象物質	号番号	排出量			移動量		
		2008年度	2009年度	2010年度	2008年度	2009年度	2010年度
トルエン	300	9,536	8,286	5,428	83,965	79,423	88,808
キシレン	80	2,570	2,751	1,908	77,933	84,089	49,832
エチルベンゼン	53	2,569	2,760	1,905	77,933	84,089	49,832
アクリロニトリル	9	137	120	186	0	0	0
メタクリル酸メチル	420	209	196	109	0	0	0
トリエチルアミン ★	277	—	—	83	—	—	0
エビクロロヒドリン	65	369	357	64	0	0	0
スチレン	240	192	173	49	103	164	149
アクリル酸	4	3	3	15	0	0	0
エチレングリコールモノエチルエーテル	57	18	26	10	1,094	774	761
フェノール	349	222	132	4	0	0	0
ホルムアルデヒド	411	991	940	2	0	0	0
その他 ※		62.0	39.9	59.6	9,059	37,832	10,058
合計		16,878	15,785	9,821	250,088	286,371	199,440
ダイオキシン類	243	0.000018	0.23	0.000135	4.04	0.66	0.60

※ その他:ノルマルヘキサン、4-ターシャリブチルフェノール★、酢酸ビニル、アルファ-メチルスチレン★、亜鉛の水溶性化合物など

★ 法改正による追加物質

PCB廃棄物の管理

荒川化学グループでは、トランスなどの電気機器を「廃棄物処理法」に従って適正に保管・管理しています。また、「PCB処理特別措置法」に基づくPCB廃棄物の処理計画に沿って、適切に処理を進めていきます。

環境に関わる事故

荒川化学グループでは、2010年度も環境保全活動を強力に推し進めた結果、環境に関わる事故は発生しませんでした。また、環境関連の訴訟や環境関連法規制による処罰等もありませんでした。2011年度も環境関連の法律・条例などを遵守するとともに、環境保全活動をさらに徹底し、事故ゼロを目指していきます。

グリーン規定※に基づく化学物質管理

荒川化学では、環境負荷を最小化し地球にやさしい企業活動を実現するため、化学物質管理基準を運用し、購入か

ら廃棄まで企業活動の各場面での管理をより確実なものにしています。

※グリーン規定についてはP.8をご参照ください

VOICE

新製品の化学物質管理を徹底しています。

新たに開発した製品の初回製造前に「製品評価リスト」を作成し、新製品の法規制の確認や危険有害性の評価を実施しています。新製品の設計段階から、原材料などについて有害物質の含有も把握し、MSDS(P.20参照)などによりお客様に製品の危険有害性情報を提供しています。

今後も地球環境に優しいグリーンな製品の開発に努めていきます。



化成品事業部
研究開発部
三宅 一紀